



小方学園（小方中学校）だより 中

学園教育目標 「かしこく なかよく たくましく」

～元気に 仲良く 学習する 児童生徒の育成～

令和6年1月26日

第10号

担当 教頭 片平真司

時が過ぎゆくのは早いもので1月も過ぎ去ろうとしています。1月は「いぬる・いく」2月は「逃げる」3月は「去る」とはよく言ったものです。昔、クラスの子供たちにこの話をしました。「1月はいぬる 3月はさる じゃあ2月は？」子供たちはしばらく考えて「わかった！“きじ”でしょ」と言いました。私はなんで“きじ”？と思いました。よくよく聞いてみると、桃太郎のおとを想像したようです。なるほど！

そんな楽しい発想の子供たちの成人の日に出席しました。立派な大人になっています。中学校時代の姿しかわかりませんが、卒業後も様々な人と出会い、人の優しさやつながりを感じ、時には涙したことも、時には大笑いしたこともあったでしょう。これからの時代を担う子供たちが人と優しくコミュニケーションが取れるように、中学生時代にできることを取り組んでいきたいと思います。今年もよろしくお祈りします。

【始業式 学校長の話より】

令和6年、1発目のアレをいきます。小方学園のみなさん！！元気ですか！？元気があれば、3学期の始業式ができる。この冬休みに、小方学園の小・中学生で命に関わるような大きな事故やけがはなかったようです。このことについて、まず、みんなで喜びたいと思います。

ただ、日本全国に目を向けると、正月の1月1日から、日本海側の石川県能登地方が震源となった能登半島地震という大地震が起きました。まだまだ、細かい被害の状況は、わかっていませんが、今日の新聞によると、お亡くなりになった人168人、行方不明の人323人、合計491人の人がお亡くなりになったか、行方が分からない人です。小方学園の小・中学生の人数より少し少ないぐらいの人数です。地震も、いつ起こるか分かりません。「明日の何時何分に起こります」という予告はありません。地震が起こった時、自分がどこにいるかもわかりません。学校、家、道路、学校にいても教室にいるか、トイレにいるか、運動場にいるか、体育館にいるか・・・それはわかりません。この機会に、1学期に行った地震の避難訓練でお話した、いつ、どこにいても使える避難のルールを思い出してもらいます。地震が起きた時の3つのルールです。「1 シャがむ（姿勢を低く、こけないように）」、「2 かくれる（体や頭を守る）」、「3 待つ（ゆれがおさまるまで、1分ぐらい）」です。その後、広い場所に逃げます。いざというとき、こんな行動ができるように頭に入れておいてください。

さて、冬休みの宿題、もちろん終わっていると思います。校長先生が出した6つの宿題もできましたか。6つの宿題の目的は、「みんなが『元気に』『スムーズに』3学期の学校生活を始めるため」ということでした。

6つのうち、最初の3つは、「三点固定」です。「起きる時刻」、「寝る時刻」、「勉強する時間」でした。後の3つは、「三つの習慣」です。「あいさつ」、「そうじ」、「はきものそろえ」の3つでした。

「三点固定」、「三つの習慣」のそれぞれで、自分が一番、がんばったものに手を挙げてみてください。1番がんばったものの1つだけです。

これら6つ、小さいことばかりですが、3学期も続けてがんばってほしいと思っています。

さて、今日から3学期です。最後の学期です。もう今現在の学年の時間は二度と戻ってきません。1年生も1月、2月、3月と過ごせば、もう2年生になります。小学校6年生は小学校の時間は二度ともどってきません。中学校3年生は義務教育の時間は二度と戻ってきません。

学校の1年間を、稲作、米作りに例えると、1学期は種まきからの苗づくりそして田植え、2学期は実り、3学期は収穫です。収穫しても食べるお米だけでなく、次に食べるお米を作るための種もみを残して、次の1年を迎えることになります。

皆さんの学校生活で言えば、1学期に1年間の基礎になる力を付けていきます。種まき、そして

田植えをします。2学期に、益々いろいろな学習に挑戦します。学園祭や社会見学、修学旅行などもあります。成長します。実ります。3学期は今の学年で身に付ける力を付け切ります。立派なお米の収穫です。と同時に、次の年に今の学年で身に付けたことを持って次の学年に進まないといけません。種もみです。だから、3学期は、今の学年の学習のまとめをしっかりとすることによって、4月からの準備をしておく時間になります。

さきほど、6つのことは、3学期も続けてがんばってほしいとお話ししました。日常生活の小さなことばかりです。小さなことができないと大きな学習のまとめもできません。

そこで、3学期に皆さんにやってほしい小さなことを、もう1つ付け加えます。本当に小さなことです。

それは、名前を呼ばれたら、気持ちの良い「返事」をすることです。いつでも、どこでも。名前を呼ばれるというのは、相手の人があなたのことを認めている証拠です。自分のことを認めてもらっているのに。「はいっ」と気持ちの良い返事をしないということは、相手の期待を裏切ることになります。名前を呼ばれたら、必ず、「はいっ」と返事ができることが大切です。

小学校6年生と中学校3年生は、3月に卒業式を迎えます。一人一人、担任の先生から名前を呼ばれ、校長先生から卒業証書を受け取ります。そのときの返事は、これまでの人生で一番良い返事でなければなりません。普段できていないことは、まず本番ではできません。

では、これから、小方学園で1人だけ、返事のお手本を見せてもらいます。お手本を見せてくれるのは、中学校2年生、生徒会長、武内優和くんです。では、武内君の返事を聞いてください。……さすが、返事世界一です。

では、3つの学年ごとに返事の練習をします。まず、中学校1・2・3年生。次に小学校4・5・6年生。最後に小学校1・2・3年生……。

小さなことができないのに、大きなことは絶対にできません。

今日は、いろいろなお話をしました。整理します。

まず、地震から命を守る避難のルール3つのお話。次に、最後の学期、3学期では、学習のまとめ、今の学年の学習をマスターして次の学年に進むこと。学習がよくできる、わかるために、三点固定や三つの習慣、そして返事もがんばってほしい、というお話をしました。

大きな力を付けて次の学年に上がるために、小さなことにこそ、全力で取り組みましょう。

【小学6年生 部活動体験を行いました】

1月23日(火)小方小学校6年生を対象に中学校の部活動体験を行いました。当日は雪が舞うとても寒い日でしたが、寒さに負けず中学生の先輩たちと一緒に希望の部活動を体験しました。来年度一緒に活動できるのが楽しみです♪



【横田先生ありがとう】

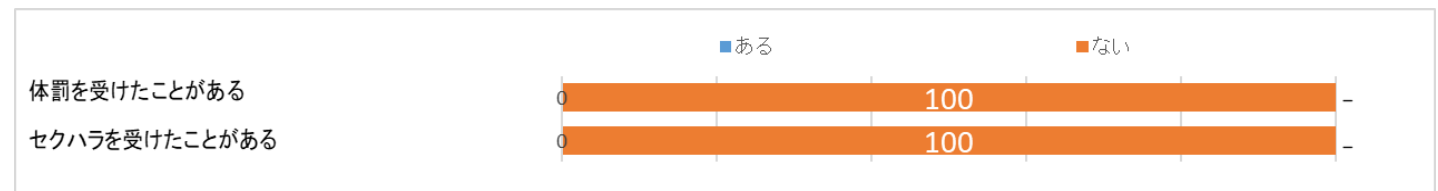
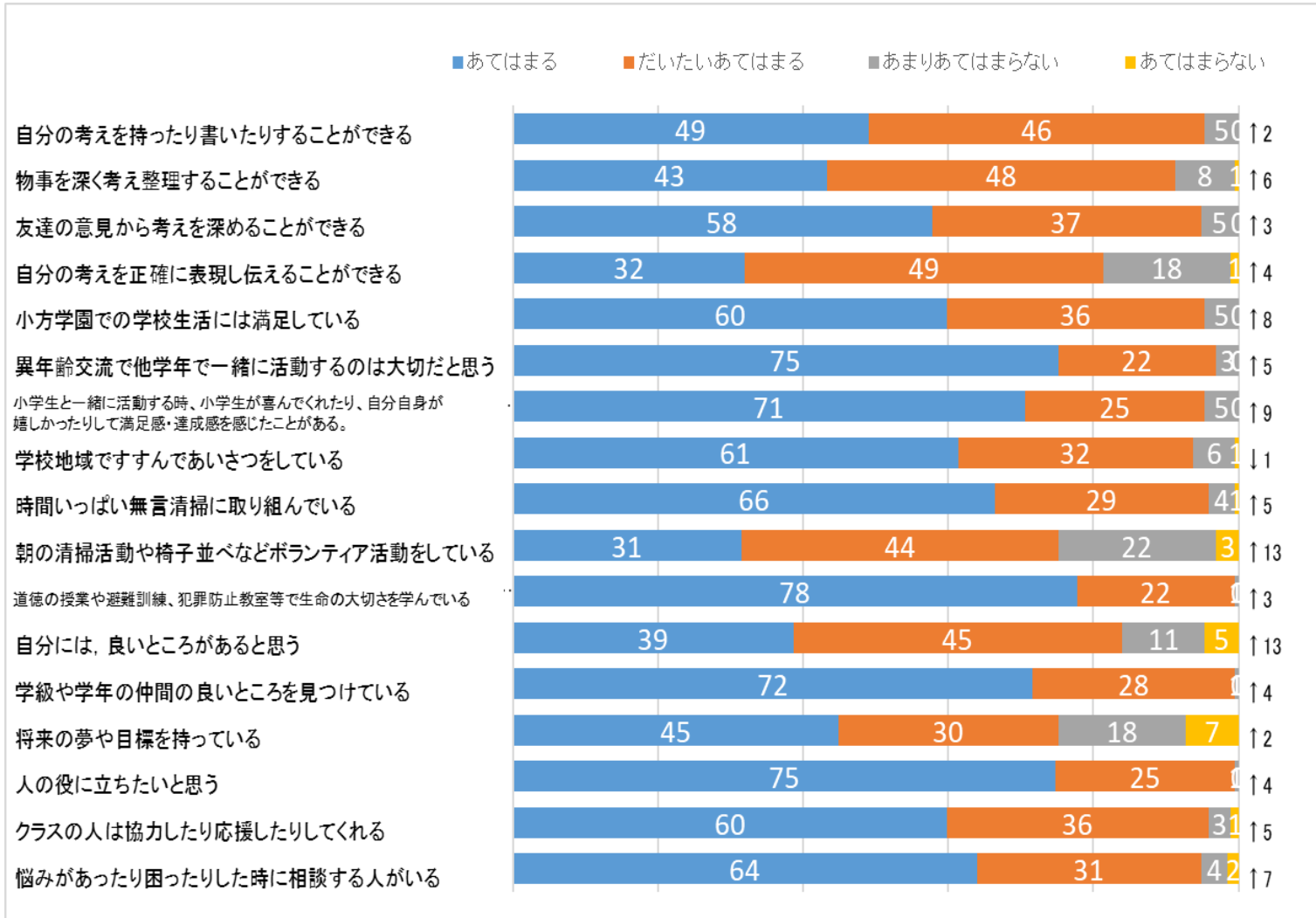
足立先生の代わりに養護教諭として勤務していただいた横田康子先生が1月22日(月)で小方学園の勤務を終えることになりました。短い間でしたが、保健室でお世話になった生徒も多くいました。離任式では生徒会の 田中 凛さんが「とても親切で丁寧に対応くださり、みんなのことを考えて接くださり感謝の気持ちでいっぱいです」と、お別れの言葉を贈りました。横田先生ありがとうございました。



【第2回学校評価アンケート結果】 (%表示)

※グラフの右の数字は第1回学校評価アンケートと比べて、あてはまる、だいたいあてはまるの数字の上下を示しています。

《生徒アンケート結果》



【生徒】

- 「学習について」(1～4)では、全項目80%以上肯定的に評価しており、第1回アンケートと比較して全項目上がっている。
- 「小中交流・生活について」(5～11)では、は学校・地域ですすんであいさつをしているが1%下がったが、ボランティア活動をしているでは、13%大きく上がっており、仲間のために行動する生徒の意識向上がみられた。要因としては、生徒会専門委員会主催の取組がよい結果につながった。また、生徒の計画・運営で声かけあって行うことで、主体性につながった。

